



背伸びしてボールを返す橋本さん  
(島津アリーナ京都)



サーブのアドバイスをする江藤さん(中央)

## ソフトバレー楽しみ チーム感覚を学ぶ

京都女性スポーツの会指導者研修会

本年度の第1回京都女性スポーツの会指導者研修会が18日、京都市北区の島津アリーナ京都で行われました。

今回は「ソフトバレーボール」の実技研修です。講師は元全日本主将で現在は龍谷大女子バレーボール部監督を務める江藤直美さん(45)。同会に加盟する競技団体から約100人の指導者やアスリートが参加しました。

開会にあたり江藤さんは「けがの心配や恐怖感もないので一生懸命取り組み、楽しんでください」と激励しました。ソフトバレーのネット高は2

00センチ。身長186センチの江藤さんがジャンプもせずにフロックして見せるど参加者から感嘆の声がもれていました。

女性たちは18組に分かれ、ミニゲームを繰り返し学びました。当初はボールが思わぬ方向に飛んだりしていましたが、江藤さんがアドバイスをし、ゲームを楽しみむ姿が見られました。

剣道の橋本彰子さん(52)は「剣道は1対1ですが、チームプレーが新鮮でした。初対面の人とも打ち解け合い、ゲームでは思いのほか気合が入りました。(剣道とは)違う筋肉を使ったので筋肉痛になりそう」と笑顔で話し、機会があれば今後も球技にも取り組みたいです。